

留学を考えた ことのないあなたへ

なんでも聞いてみよう。
情報収集してみよう。

情報収集

グローバル教育センター(2号館1階)

窓口時間内にいつでも相談できます。
お気軽に質問にお越しください。

留学ハンドブック

留学にまつわる全ての情報が記載
されています。
右のQRコードからご覧ください。



Loyolaダウンロードセンター

交換留学・短期プログラムの最新情報、帰国レポートや募
集要項、交換留学協定校のInformation Sheetなどを確
認することができます。

@Sophia_Global

グローバル教育センターの各種イベント情報を発信しています。

ガイダンス フェア

留学ガイダンス

4月12日(水)・4月14日(金)・9月下旬に対面もしくは
オンラインで実施予定です。

短期プログラムガイダンス

4月中旬・10月上旬に対面もしくは
オンラインで実施予定です。

留学フェア

第2クォーターに実施予定です。

各説明会の詳細はLoyola・Twitterをご確認ください。



2023

グローバル教育センター

編集・発行 グローバル教育センター

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 2号館1階

<https://www.sophia.ac.jp>

2023年3月発行



参加した留学プログラム

2022年度(4年次)春学期・秋学期 交換留学／メルボルン大学

熊谷 創さん(法学部国際関係法学科4年)

交換留学に挑戦した理由

中学3年生の時にアメリカのシアトルに2週間程ホームステイをした時に、日本にいる自分と海外にいる自分の違いを感じ、海外に身を置いている自分の方が好きだと感じました。その経験から高校時にも1年間の留学を検討したのですが、大学受験との兼ね合いで諦めてしまいとても後悔したため、大学では絶対に長期留学をしたいと思っていました。

交換留学を通じて成長したこと

一番の収穫は、自分自身についてより深く理解できたことです。初めての海外での長期留学、初めての共同生活、初めての海外でのアルバイト経験など、未知の出来事を経験し色々な人と話をしていく中で、自分が一体何に興味があるのか、どういった時に喜怒哀楽を感じるのかが日本にいる時に比べさらに鮮明にわかりました。より深い自己理解によって、自己表現もうまくできるようになり、自分のキャパシティも測ることができました。今後何をやるにしても、自己理解の深さは強い武器になると思います。



失敗談や困ったこと、それをどう乗り越えたか

最初の2、3ヶ月間は授業で話されている内容もあまり理解できないし、もともと人見知りなこともあってしばらく仲の良い友達ができず、孤独感を強く感じ、それを周りの人に言えずにいました。しかし、今の親友である人が、彼の抱えているネガティブな部分を自分に打ち明けてくれたことで、自分も彼に打ち明けたいという気持ちになり、それからは自分のネガティブな部分も人に曝け出すように心がけました。それを始めてからは、腹を割って話せる友人ができ、留学を楽しめるようになりました。自分から積極的に心を開き、良い部分も悪い部分もひっくるめて腹を割って対話する重要性を学びました。

交換留学中の私生活

大学構内や近くの公園などでサッカーをよくしていました。また、平日の朝は大学のテニスコート利用が無料だったので、それもたまたま利用していました。外食が高いため自然と自炊を頻繁に行うようになり、料理が趣味になりました。日本ではなかなか手に入りにくい食材を使って料理するのはとても良い息抜きになっていました。

交換留学経験後の次の目標・ステップ

留学中に現地で働いた経験から、オーストラリアの労働環境の良さを感じ、卒業後はオーストラリアで就職するために、現地の専門学校に進学しようと思っています。日本で生活したままではある意味で井の中の蛙状態になってしまい、こうした日本と海外の違いに気が付くことはできなかったらと思うので、自分の人生設計をする上で非常に貴重な経験となりました。

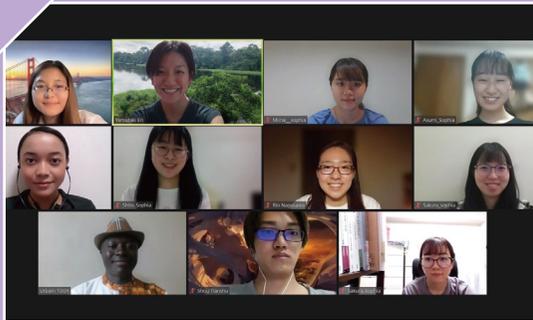
新入生へのメッセージ

私たちの世代は留学をしたいと思っても、コロナ禍による入国制限などで渡航不可能な状況が続き、私自身も予定されていた留学が何度も中止になり辛い思いをしましたが、新入生の皆さんには留学の扉は開かれています。留学は準備から渡航中まで大変なことはたくさんありますが、その分成長でき、今まで考えてこなかったようなことについて深く考える貴重な経験を積めます。実際に行くかどうかは別にして、せっかく留学の機会が豊富な上智大学に入学したので、一度留学を考えてみてはいかがでしょうか？



参加した留学プログラム

2021年度(1年次)夏期休暇中 ジュネーブ国際機関集中研修
2022年度(2年次)夏期休暇中 アフリカに学ぶA



細川 未智さん(経済学部経営学科2年)

実践型プログラムに挑戦した理由

一番の理由はオンラインだったからかもしれません。やはり金銭的に留学に行くことが難しい中でも安心して参加でき、さらなるべく現地に近い形で学びを得ることができるこの機会は私にとって貴重なものでした。

直近の経験として、2022年度夏期の「アフリカに学ぶA」に参加しましたが、私はそのプログラムにおいて現地の声が聞けることを最大の魅力だと感じており、実際プログラム終了後も貴重な視点や価値観が学べたという実感があります。これまでの経験上、私のアフリカに対するほとんどの知識が日本の視点で元となっていたため、アフリカ現地の視点は、コントラストとなる情報として興味深いものでした。

特に印象に残ったこと

プログラムを通し、官や民の両方のセクターの方にお話を伺うところから積極的に自分の関心テーマについて掘り下げたり、それに沿った質問を積極的に聞いたりするところまで、様々な学習形態を通してアフリカの考え方、価値観、そしてアフリカへの援助の姿勢を知ることができました。特に印象的だったのがカメルーン大使館訪問で、それが唯一対面での学外学習ただけではなく、存在することは知っていたが実際にあまり耳にすることのなかった開発の実情や本質、援助における課題といった深いところまでのお話が聞けて非常に面白かったです。また、質問を聞いた者勝ちで自分の関心テーマについて聞けるところや、他の人の問いから全体の学びが促進されることも良かったです。

実践型プログラムを通じて成長したこと

個人の想いと模擬国連の経験から元々貧困対策や開発の分野に興味があり、特にその背後にある思想や価値観に関心があったので、私はこのプログラムにおいて、検索すればすぐ出

てくるような情報ではなく、経験者や当事者にしかない独自の考え方や経験に関してより突いたところを聞くことを意識していました。アフリカ現地の人々やアフリカの支援に赴いている人々の口から生の視点や生活・開発援助に関する所感と現状を知ることができたきっかけで、私も自分なりの国際協力・開発思想を構築していきたいと、開発援助の道に進む意志がより強いものとなりました。



次の目標・ステップ

今後も私は開発思想を追求し続けていきます。開発とその援助の企画実施内容のみならず、背景にある社会的な状況やその現場に関わる人々の価値観を理解してこそ初めて開発の効果につなげることができると思っているため、私はこれを大切に今後も国際協力に関する勉学や課外活動に励んでいきたいです。また、実際にアフリカ現地に足を運んでみるという夢を近々実現させたいです。

新入生へのメッセージ

実践型プログラムは名前の通り、実践がキーワードであり、活動参加において当然主体性と関心が求められます。裏を返せば主体性と関心が高ければ高いほどこのプログラムから得られることも大きくなるので魅力ばかりです！ 休み期間を充実したものにし、将来への参考となる経験を増やしたい方には是非チャレンジしてほしいです。



グローバル教育センターが実施するプログラム

海外の大学で専門分野の知識を深める「交換留学」

上智大学の協定校(P11参照)に1学期間または1年間留学する制度です。留学先大学で授業を履修し、自身の専門分野の知識を深めることができます。留学中の学費は、本学に納め、留学先大学の授業料は免除になります。また、留学中に修得した科目の単位は、最大30単位まで上智大学の単位に換算することができます。

留学開始時期は地域によって春(前年6月募集)、秋(前年10月募集)に分かれ、学内選考出願要件(「留学ハンドブック」参照)を満たせば出願することができます。

交換留学にはSophia AIMSプログラム(東南アジア4カ国7大学対象)やLatin America Program(中南米6カ国13大学対象)等、地域に特化した派生プログラムもあります。詳細は留学ハンドブックをご覧ください。

英語の語学力を身につけたいなら「交換留学(英語集中コース)」

交換留学協定校で行われている語学プログラムに参加し、英語を集中的に学ぶプログラムです。留学期間は秋学期の1学期間のみとなります。学費を本学に納入することにより留学先大学での授業料は免除されますが、渡航費・滞在費等は参加者の負担です。本プログラムは、通常の交換留学へ参加するには英語力が不足していて出願が難しい方を対象としています。

短期プログラム

長期休暇に語学を学びたいなら「海外短期語学講座」

交換留学協定校等が主催する語学プログラムです。申込時の語学力は問われず、参加しやすいプログラムです。英語以外の言語のプログラムも実施されており、第二外国語の習得にもお勧めです。●実施校：12カ国24コース(2023年度予定)

長期休暇に専門分野を学びたいなら「海外短期研修」

交換留学協定校等で開講される研修プログラムに参加し、外国語で専門科目を学ぶものです。理工系・法学系のプログラムなど、特色ある内容が魅力です。プログラムごとに必要な語学能力等が定められています。●実施校：9カ国12コース(2023年度予定)

参加者が申請できる奨学金

- 日本学生支援機構(JASSO)海外留学支援制度奨学金
- ソフィア会留学支援奨学金
- 叡智が世界を繋ぐ奨学金

インターンシップ科目

上智大学では春期・夏期休暇中や学期中に参加できるインターンシップ科目を提供しています。グローバル企業、報道機関、駐日大使館、国際機関等、国内外でのインターンシップを通して将来のキャリアを考えてみませんか? 実習先によっては海外オフィスでの実施もあります。先輩学生の体験談もぜひご覧ください。



実践型プログラム

学期中に学内の事前講義で各テーマや地域の理解を深めた上で、長期休暇中に現地での実践的な学びを得ることができるプログラムです。



夏期休暇中実施

- ・グローバルリーダーシップ・プログラム
- ・AJCU-AP サービスラーニング・プログラム
- ・アフリカに学ぶA
- ・インドの社会経済・人間開発に学ぶ南インドのケララ州を事例に
- ・国際公務員をめざして(実務型国連集中研修)
- ・ジュネーブ国際機関集中研修プログラム
- ・東南アジアに学ぶA
- ・エストニア・スタディツアー-持続可能な社会構築に向けた教育の可能性
- ・ミャンマー・スタディツアー

春期休暇中実施

- ・インド・サービスラーニング・プログラム
- ・東南アジアに学ぶB
- ・国連の役割と機能(国連集中研修)
- ・アフリカに学ぶB
- ・多文化共生社会のリーダーシップ



紛争解決学プログラムのクラスメートたちと。



モンゴル・アイルランド・コロンビアの元大統領たちが登壇したシンポジウムに参加した際。



ジョージタウン校舎。ワシントン D.C. の中心に位置。



気候変動と紛争について学ぶ友人と。

参加した留学プログラム

- 2020年度(3年次)春学期短期インターン アフリカ開発銀行アジア代表事務所
- 2020年度(3年次)秋学期短期インターン ブルキナファソ大使館
- 2021年度(4年次)春学期交換留学 パリ政治学院(オンライン)
- 2022年度海外大学院特別進学制度 ジョージタウン大学 紛争解決学修士

木村 奈穂さん(国際教養学部2022年3月卒業)

海外大学院特別進学制度に挑戦した理由と、実際に学んだこと

十代前半から国際機関で難民保護の職に就くことを志し、海外の大学か英語で受講できる国内の大学に進学すると決めていました。受験を経て最終的に進学先を決める段階で、「海外大学院特別進学制度」と「国連との結びつき」が大きな決め手となり、上智の国際教養学部を選びました。上智4年間では難民問題とジェンダーを中心に学び、大学院でさらに難民保護または紛争解決を専攻したいと思い、海外大学院特別進学制度を通して紛争解決のプログラムがある学校を2校、そして個人で(制度とは別に)難民保護に特化したプログラムを1校受験しました。私はあくまで、自分が勉強したい分野に長けている学校に応募する上で、個人での応募と並行して、海外大学院特別進学制度からの入口も挑戦したといった形です。

一般出願者よりも簡易化された手続きと、出願時のアシスタントを受けることができるという点で、海外大学院特別進学制度はとてもお勧めです。出願資格を満たしていて、対象プログラムの中に自分の興味関心と合致するものがあれば、ぜひ挑戦してみると良いと思います。しかし、「簡易化された」と言っても、基本的には一般出願者と同じ出願書類が求められるため、明確な研究計画と説得力のある志望動機が必要です。また、学内選考の出願期限と、出願先の大学院への出願期限が別であるため、複数ある提出書類と期限の自己管理が大事です。私のように、この制度に加えて個人で他の大学にも応募することを考えている人は、この点がより重要になります。一つ後悔があるとすれば、ジョージタウンに来てから、「海外大学院特別進学制度の対象ではなかったが、個人で応募しておけばよかったな」と思った他のプログラムがあ

りました。同じ学校内でも、学部やプログラムが違えば雰囲気が大きく変わり、学べる内容も異なります。海外大学院特別進学制度は一つの手段として、十分なリサーチをしてから募集するプログラム・方法を決めると良いと思います。

現在私は、海外大学院特別進学制度を通して受験したジョージタウン大学・紛争解決学プログラムで、修士号の取得を目指しています。このプログラムでは、紛争解決の学位に加え、自分で選んだ集中分野の修了書を取得することが出来ます。私は「難民・移民・人道危機」を専攻分野にし、今学期は IOM (国際移住機関) のリサーチフェローとして、カリブ諸島の気候難民に関する調査を行っています。次の夏には、難民キャンプでインターンシップを行い、卒業後すぐは NGO または政府機関で、難民をジェンダーに基づく暴力 (GBV) から守る仕事に就きたいと思っています。そして最終的には、国際機関で難民保護官として GBV や子どもの保護に関わりたいです。



セントルシア出身のルームメートと。



国際教養学部の友人たちと、卒業アルバムの撮影にて。

留学やインターンシップを通じて成長したこと・自身の人生に影響を与えたこと

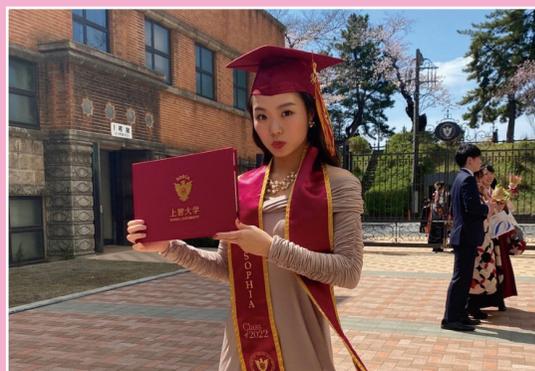
上智のインターンシッププログラムの最大の強みは、普通は学部生にとってインターンが難しい機関での経験が積めるという点だと思います。私はアフリカ開発銀行と、ブルキナファソ大使館で短期インターンをさせていただきましたが、それぞれ、この上智のプログラム以外ではインターン生は基本的に受け入れていない機関でした。アフリカ開発銀行では、アフリカの女性の起業支援事業に関する記事の執筆や、日本政府とアフリカ開発銀行の関係性を示したファクトシートの作成、そしてウェブサイト掲載用の英語記事の日本語訳を担当しました。ジェンダーに興味があることを伝えると、それに関連した仕事を振ってくださった上に、将来国際機関を目指している私に、職員の方一人一人がキャリア面談の時間を設けて、ご自身のキャリア設計について一対一でお話してくださいました。また、定期的にととても丁寧なフィードバックも頂きました。翻訳と一言で言っても、忠実な翻訳が求められる場合、意識で良い場合、または要約した訳が適する場合がある中で、それぞれのケースに合った正しい日本語の使い方を学びました。他にも読みやすい表の作成方法や色使いなど、実践的なスキルを得ることが出来ました。インターンシップが終わって2年半が経ちますが、今でも定期的に一部の職員の方と連絡を取らせていただき、進路のアドバイスを頂戴しています。

また、上智での勉強が実際にどう社会と繋がっているのかを認識するという点でも、インターンシッププログラムは大きな意味があります。アフリカの発展を授業で学んでも、教室にいるだけだと、せっかく得た知識がどう役に

立つのか中々実感が湧かないことがあると思います。在学中にインターンシップをすることで、その時点の自分に足りないスキルを把握し、自らの問題意識が明確化するため、より具体的な目的を持って勉強に向き合えます。同時に、卒業後の道を想像しやすくなり、進学・就職・それ以外の道を選ぶとしても、広い選択肢を描くことが出来ると思います。そして、多くの出会いがあります。インターンシップ期間が終了しても、メンターとして様々なアドバイスを頂けるとは思っていませんでしたが、ロールモデルとなる国際機関の先輩に出会えたのもこのプログラムのおかげです。

新入生へのメッセージ

上智での4年間はあっという間です。留学やインターンシップを含め、多くのプログラムが存在しますが、自分から情報収集をして応募しないと、せっかくあるチャンスも掴むことはできません。チャンスは、日頃から準備をしている人の元にやってきます！ グローバル教育センターの方からは、インターンシップと大学院の出願、そして奨学金応募に際し、たくさんのアドバイスを頂きました。教授だけでなく、事務スタッフの方も含め、上智には親身に相談に乗ってくださる方が多いです。まずはどんなプログラムがあるか調べて、学校のホームページにある先輩の体験談を読んだり、グローバル教育センターのカウンターで話を聞いてみてください。私は上智での生活を振り返って、留学やインターンシップが間違いなく4年間のハイライトの大部分を占めています。そして、現在大学院生活を送るワシントンD.C.では、DCソフィア会に参加し、定期的に先輩ソフィアンと交流しています。卒業してからも上智の輪が途切れることなく、在学中にお世話になった教授や友人たちに、様々な場面で助けていただいています。新入生の皆さん、せっかくソフィアンになった今、上智が誇るリソースを最大限活用して、自分の目標に一歩近づける学生生活を送ってください！



2022年3月卒業式にて。

より広げるために。 キャリアの可能性を

就職活動はその開始時期が流動的ですが、特に最近では留学経験者を積極的に採用する方針を打ち出したり、通年採用を行う企業も多く、留学経験者のための就職セミナーも増えてきています。自主的に留年をして就職活動を行う学生も多いのは事実ですが、就職活動だけを理由に留学を諦めるようなことがないように、大学としてサポートを続けていきます。

Graduate Instituteとの3+2プログラム



The Graduate Institute of International and Development Studies (GI:ジュネーブ国際・開発研究大学院)は、スイス・ジュネーブの中心地であり、数多くの国際機関職員や外交官を輩出してきた大学院です。GIとの協定により、上智大学の学部で3年間(または3.5年間)学んだ後に、2年間の修士課程を終えると、計5年間(または5.5年間)で学士号(上智)と修士号(Graduate Institute)が取得できるプログラムです。募集は年に1回(10月~11月)で翌年の秋学期から留学を開始します。



上智大学の卒業後に海外で学びたいなら 『海外大学院特別進学制度』



上智大学卒業後も、アメリカの大学院への特別進学制度があります。上智からの推薦のもと、通常の審査よりシンプルな手続きによって選考が行われます。また、一部授業料の減免措置が適用される大学院もあります。

対象校

- Fordham University 大学院
- Columbia University Teachers College
- Columbia University School of Professional Studies
- Georgetown University 大学院
- Boston College 大学院



Georgetown University

01 留学の目的を明確化して、どのような留学をするか検討

期間は？卒業時期は？目的は？留学目的をしっかりと決めておくことが、留学中も心の支えとなります。

02 情報収集

費用は？奨学金は？申込時期は？必要な要件は？様々なプログラムの中から自分に合ったものを探し、情報収集しましょう。

03 留学先選択

地域は？どんな大学がある？Loyolaのダウンロードセンターでは、交換留学・短期プログラムに参加された方の帰国レポートや協定校のInformation Sheetを閲覧することができます。

Check!!

Loyola > ダウンロードセンター > グローバル教育センター

04 出願

出願時期、必要な要件をよく確認し、準備を進めましょう。募集時期や出願要項は、Loyola 掲示板でお知らせします。

05 入学手続き・入学許可

留学予定先が決まったら、留学先の大学に入学手続きの書類を提出します。留学先から入学許可の通知が届いたら、いよいよ渡航準備に入ります。

06 渡航準備

ビザの取得、保険加入、航空券手配などを行います。ビザ取得方法や取得にかかる期間は国によっても異なりますので、留学先国の大使館のホームページ等で事前に調べておくスムーズです。

行きたい大学・

学びたいことがあるなら

『一般留学・休学留学制度』

一般留学は、学位授与権のある大学に、学部長の許可を受けて休学せずに留学する制度で、留学先大学を自由に選べるのが魅力です。学費は本学と留学先大学の双方に納入しますが、「海外留学奨励費」を受給することも可能です。休学して留学する場合、本学の学費は減額されます。単位換算と4年間での卒業はできませんが、留学先の形態(大学以外も可)を自由に選択できます。いずれも手続きは個人で行います。

外国語学習のサポート

TOEFL iBT®の勉強法など、留学準備に欠かせない語学学習のことで困ったらLanguage Learning Commons(6号館1階)を活用してみましょう。英語学習アドバイザーをはじめ、外国語検定試験に向けた講座の実施、外国語コミュニケーショングループや英語のe-learning教材など、皆さんに役立つさまざまなサービスが提供されています。

留学カウンセリング制度を

利用してみませんか？

大学の制度以外に私費で行く留学についても、どんなことでも留学の専門家に相談できるサポート制度があります。留学に興味はあるけれど迷っている、どこから手をつけていいかわからない……そんな方はぜひご相談ください！

留学カウンセリング制度の詳細は、こちらをチェック



学内の国際交流

交換留学生サポーターとGlobal Networkについて

交換留学生サポーター制度は、留学生の生活を手助けするボランティア活動です。Global Network (GL-Net) は留学生と上智生の交流を図るため、様々なイベントなどを主催する学生団体です。どちらも留学生との交流を目的に活動しています。

交換留学生サポーター登録は「グローバル教育センター」にて、GL-Netへの問い合わせはInstagram「@glnet_sophia」/Twitter「@GL-Net」にて受け付けています。

サポーターとGL-Net両方で活動する

湯目一樹さんの体験談 (経済学部経営学科2年生)

私は高校時代に2週間ほど留学に行ったことがありますが、長期の留学を経験したことがありません。しかし、海外の友達がたくさんいます。この友達は全て交換留学生サポーターとGL-Netの活動で出会いました。留学生はみんなとても優しく、大きな心を持っていたので、流暢ではない英語でもコミュニケーションができ、国際交流をとても楽しいと思いました。留学生サポートではキャンパスライフをサポートすることがメインですが、花火や、たこ焼きパーティーをして交流を楽しみました。



また、一番の思い出は今年の夏、このプログラムで出会ったフランス出身の友達とフランスで再会できたことです。エッフェル塔に上ったり、おいしいケーキを食べたり、フランスの有名人に会ったり国際交流をしていて本当に良かったと思った瞬間でした。

主な奨学金制度

「留学=お金がかかる」？留学する国・地域や個人の生活スタイル、滞在先宿舎や為替レート等によって変わりますが、交換留学の場合、1年間だと150~300万円、1学期だと80~150万円程度が滞在費用の目安となります。私費留学(一般留学・休学)の場合、更に留学先の授業料が必要となります。また、短期プログラム(1か月前後)でも参加費15~90万円程度がかかると言われています。

十分な留学資金を準備することが欠かせませんが、留学のために利用可能な奨学金制度も多くあります。国の制度である「日本学生支援機構(JASSO)」の奨学金は、大学の制度を利用して留学する方に対して、月額6~10万円(地域により異なる)が給付されます。「ソフィア会留学支援奨学金」、「叡智が世界を繋ぐ奨学金」等、上智大学生のみが対象となる奨学金もあれば、個人で申し込みが可能な奨学金もあります。留学奨学金についての詳細は「留学ハンドブック」を参照してください。



どこで勉強したいか。

上智大学の交換留学協定校は世界62カ国331校に及びます。

留学先大学での教授言語は英語、フランス語、ドイツ語、イスパニア語、ポルトガル語、ロシア語、イタリア語、韓国語、中国語の中から選びます(語学要件を満たしていることが必須)。



世界 62カ国・地域



交換留学協定校 331校

2023年3月1日現在 協定校の詳細は「留学ハンドブック」を参照してください。



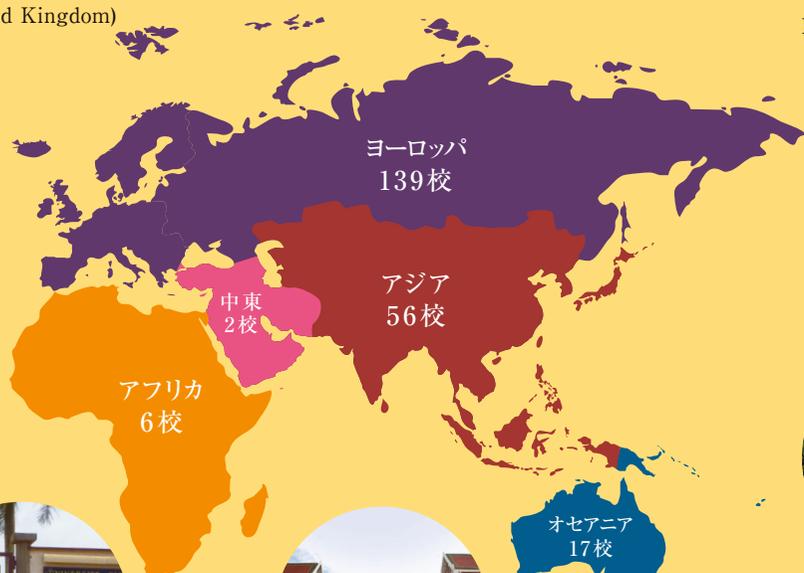
University of Bristol
(United Kingdom)



Université du Luxembourg
(Luxembourg)



McGill University
(Canada)



Catholic University of
Central Africa (Cameroon)



Chulalongkorn University
(Thailand)



University of
Western Australia
(Australia)



University of
Colorado Boulder
(USA)



Universidad Nacional Autónoma
de México (Mexico)

受入れ留学生の声

Rotterdam Business School

A.O. (Netherlands)

Rotterdam Business School is not only a school where you develop your professional skills via practical assignments, but it's also a place where you can develop yourself in a positive environment. Learning to become open-minded, cultural aware, flexible and trust-worthy are just some of the core skills you are taught together with the wonderful experience of being in a very international environment with over 65 nationalities represented. Rotterdam Business School is a great place to start your networking as not only the students have different cultural backgrounds, but also the staff, especially teachers who are professionals from the real business world. At the same time, Rotterdam is a very welcoming city with an international culture and very friendly people which will make you feel at home immediately.



Boston College

M.T. (United States of America)

I recommend studying abroad at BC because Boston is a really fun city and BC offers many opportunities. Although there are of course many differences between Japan and the US, BC and Sophia are actually similar in many ways, such as that they both are Jesuit institutions, the student population is about the same, they are located in a city with many other universities, and they are known for forging international connections. Additionally, there are many interesting classes to choose from, and the professors are amazing and really care about getting to know their students. Lastly, BC students are also very warm and welcoming.



Tashkent State University of Oriental Studies

A.T. (Uzbekistan)

Tashkent State University of Oriental Studies is the only university of Oriental Studies in Central Asia. Along with 14 Oriental languages, students are provided with in-depth knowledge of the history, economy, and politics of Eastern countries. Classes are conducted in the Uzbek and Russian languages. Many national holidays are celebrated at the university during your exchange period. You can participate in these and feel like a Central Asian. Along with a deeper study of the Russian language and interacting with native Russians, you will have the opportunity to learn more deeply about your knowledge of the Russian language. If you want to have a deeper knowledge of Central Asia, my university should be at the top of your list.



わからないことがあったら遠慮せずに、 グローバル教育センターへ。

留学データ

以下のデータは、2022年度のもので。

交換留学に参加した学生数

313

 名

(うち13名は英語集中コース、1名はLAP)

2021年度以降、留学に参加する学生数は徐々に戻りつつあり、今後も多くの学生が交換留学に参加する見込みです。

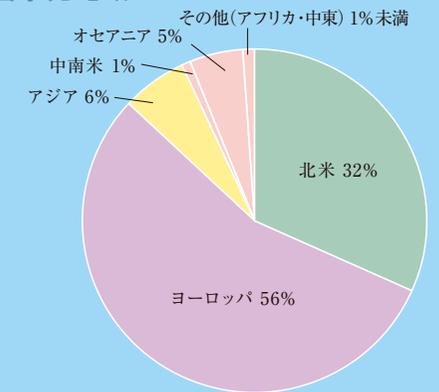
※2022年度の学生数については、2021年度より出発期を延期した学生も一部含まれます。



交換留学出発年次



交換留学先地域



世界中に上智大学の学生が留学しています。

海外短期語学講座に参加した学生数

92

 名 (うち18名はオンラインプログラムへ参加しました。)

海外短期研修に参加した学生数

57

 名 (うち17名はオンラインプログラムへ参加しました。)

実践型プログラム(短期)に参加した学生数

96

 名

夏期プログラムは国内で実施し、47名が参加しました。

一般留学した学生数

3

 名 (協定校以外の大学へ留学する学生もいます。)

休学して留学した学生数

108

 名 (語学学校など、興味・関心に応じて留学先を自由に選択して学ぶ学生も多くいます。)

交換留学で受け入れた学生数

591

 名 (短期プログラムを含む) (世界中の交換留学協定校から留学生を受け入れています。)

Q 留学のための情報はどのように収集すればよいですか？

A まずは「留学ハンドブック」やLoyolaダウンロードセンターをご確認ください。ご不明な点がありましたら、グローバル教育センターの窓口にお越しください。

Q 感染症拡大以降、渡航を伴う留学は自由にできますか？

A 留学説明会やLoyolaダウンロードセンターで留学に関する状況を発信していますので、最新の情報を確認してください。

Q 留学するのは外国語が専門分野の人ばかりですか？

A そんなことはありません。外国語学部や国際教養学部から留学される方が多いのは事実ですが、外国語が専門でない学部の方もたくさん留学していますし、申込に所属学部の制限はありません。

Q 成績は留学に影響しますか？

A 交換留学の場合、出願にGPA2.80以上が必須です。そのため、1年次から優秀な成績を修められるよう心がけが大切です。長期留学を希望していて成績が要件を満たさない場合は、一般・休学留学といった選択肢があります。短期プログラムは成績を問いません(一部除く)。

Q 交換留学を希望する場合、いつ申し込めばよいですか？

A 年2回募集があり、交換留学先の地域によって募集時期が異なります。例えば、秋出発の北米は10月に、春出発のオセアニアは6月に募集します。学内選考があり、出発のおよそ10カ月前に出願となりますので、出願時に必要なTOEFL iBT®の受験等、早めの準備が必要です。

Q 交換留学はどのように選考されますか？

A 出願者のGPA、TOEFL iBT®のスコア(留学先大学教授言語:英語)及び出願後の面接点をもとに総合点を算出し、点数の高い方から順に希望大学に配置されます。協定校ごとに語学要件が設定されており、要件を満たす限り何校でも希望を出すことができます。なるべくたくさん希望大学を記入することで、配置される可能性が高くなります。

Q 留学をしても4年間で卒業できますか？

A 交換留学・一般留学の場合、留学先大学で履修した科目の単位換算ができるため、4年間で卒業も可能です。ただし、事前に所属学科にも履修計画を相談してください。休学すると4年間で卒業できません。就職活動については、最近では留学経験者をターゲットにした採用活動を行う企業も増えています。

Q 英語に自信がないのですが、留学できますか？

A もちろんです！ぜひ留学制度を活用してください。海外短期語学講座からチャレンジして、交換留学を目指すのも良いでしょう。GL-Netや交換留学サポーター制度等、学内の国際交流プログラムにも積極的に参加してみてください。

